



SAGA SAIKO
ART PROJECT

佐賀さいこうアートプロジェクト2020

アートで佐賀を“再興”し
人々に楽しさや感動を与える
“最高”の佐賀を目指します。

第20回佐賀県障がい者文化芸術作品展 入賞者 審査員講評

知事賞	谷口 絹江	佐賀市身体障害者福祉協会	春城月出人皆醉野 戌花深馬去遅
-----	-------	--------------	--------------------

(審査員講評:竹之内 裕章先生)

しっかりした基礎の上に立った作品です。強い線で一貫性のある見事な作品です。

イオン佐賀大和店賞	大石 琢身	鳥栖市身障者福祉協会	柳川の川辺の風景
-----------	-------	------------	----------

(イオン佐賀大和店賞講評:森 雅信店長)

遠くから拝見させていただくと、ゆっくりと流れる川の水、青々としげった樹木、どんよりとした雲が、写真みたいによく表現されています。

ゆったりとした気持ちになります。

【書の部】

銀賞	宮本 久美	唐津市	真実一路
銅賞	古賀 幸子	武雄市	蘭亭序(神龍半印本)の臨書
佳作	池田 敏憲	佐賀市身体障害者 福祉協会	山寒花開遅
佳作	岩部 妙子	医療法人 多布施 クリニック	かな(吾子たのし)
努力賞	水崎 恵子	医療法人 多布施 クリニック	うす紅の色
努力賞	龍崎 鷹	鹿島福祉作業所	我信念個性

(審査員講評:竹之内 裕章先生)

「書は心画なり」と言われています。どの作品も一点一画心を込めて書かれており心を打つものがありました。

その中でも入賞作品は十分練習が行き届いており、見所十分でした。

銀賞 柔らかな線で練度の高い見事な作品です。

銅賞 一画一画じっくり見て臨書している態度に好感が持てました。

【絵画の部】

金 賞	草場 宏和	特定非営利活動法人 楠の木会 就労継続支援事業所 楠の木園	春の富士と五重のとう
銀 賞	宮地 善次	神崎市身体障害者福祉協会	布団の手直し
銅 賞	青木 正実	武雄市身体障害者福祉協会	花 1
佳 作	門田 忠	医療法人 多布施クリニック	穏やかな風景
佳 作	山口 華奈	佐賀県立大和特別支援学校	自画像
努力賞	樋渡 たき子	特定非営利活動法人 らいふステージ	世の中の人
努力賞	ジョインハート川副	就労継続支援B型事業所 ジョインハート川副	ハウステンボスの夜景

(審査員講評:山田 直行先生)

草場宏和さんの「春の富士と五重のとう」は、うららかな春の情景の油彩画です。冠雪の富士、白い雲の楽しい乱舞、五重の塔や桜の明るい色彩が快い春のリズム感を感じさせます。

宮地善次さんの「布団の手直し」は、やさしい細やかな筆致の水彩画です。平和な午後の温もりが伝わってきます。

【手芸の部】

金 賞	石橋 一寛	社会福祉法人 たちばな会 かがやきの丘	グリーンピュア
銀 賞	光岡 多鶴子	佐賀よどひめ工房	日本刺繍の付け下げ
銅 賞	南里 典子	佐賀市	秋のお彼岸に咲く彼岸花
佳 作	真島 文子	神崎市身体障害者福祉協会	カウチン編みジャケット 一式(リメイク)
佳 作	松尾 芽久実	鹿島福祉作業所	Beat the corona virus (コロナに負けるな)
努力賞	宮崎 多美子	佐賀整肢学園・かんざき日の 隈寮	こたつカバー
努力賞	山本 かず子	はがくれ学園	ひざかけ

(審査員講評:岡崎 繁代先生)

今回はいつもと違ったジャンルの作品もあり、楽しく審査させて頂きました。

きちんと仕上げた作品も多いのですが、仕上げをきちんとするともっと良い作品になるのもっとたいないと思われる作品もあり、少し残念に思うものもありました。

手芸は、すわって楽しんで製作できるさまざまな技法があります。これからも励んでほしいものです。

【写真の部】

金 賞	小川 章典	作業所 桜花	新しい未来へテイクオフ
銀 賞	福山 公文	鳥栖市身障者福祉協会	バルーン日食
銅 賞	秀 登司郎	有田町身体障害者福祉協会	天まで届け！
佳 作	今泉 正男	医療法人 多布施クリニック	官人橋
佳 作	宮崎 浩	神崎市	1966 ブラウンカンの中に見ていた
努力賞	大串 泰弘	社会福祉法人 天童会 いびき村	電車
努力賞	吉村 伸一郎	障害者就労支援センター Jobセンターピシャット	桜

(審査員講評:黒岩 弘先生)

どれも撮影された方の想いが伝わり楽しく選考させていただきました。金賞の「新しい未来へテイクオフ」は、流し撮りの技術でその想いがよく伝わり、いい作品になっています。飛行機の前方に空間がほしいと思いました。

銀賞は、空が美しくその感動が伝わります。銅賞は言葉を交わさなくても声が聞こえる楽しい作品です。

その他の作品も自分が好きなものを追っている気持ちが伝わっていいと思いました。

【工芸の部】

金 賞	山口 直子	社会福祉法人たちばな会 かがやきの丘	和泉式部オーケストラ
銀 賞	原田 麟	佐賀県立ろう学校	デザインチェア(オオカミ)
銅 賞	山のモザイクアートチーム	(医)山のサナーレ・クリニック	春夏秋冬
佳 作	宮地 三男	吉野ヶ里町社協 地域活動支援センター	ふくろうのランプシェード
佳 作	貝原 綾介	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	午後のひととき
努力賞	きみ	グループホーム 笑	春のおとずれ
努力賞	家永 泰聖	佐賀県立九千部学園	こいのぼり

(審査員講評:大庭 敬子先生)

小さい子どもから大人まで、多くの方々から出品をいただきました。

材質の特徴をいかした作品が多くあり、作者の心がこもっていて、生活するうえで使えるもの、飾って楽しめるものと、たくさんの工夫がなされた作品ばかりでした。

来年の作品を楽しみにしています。

【和・洋裁の部】

金賞	藤井 美佐枝	鳥栖市身障者福祉協会	コート
銀賞	畠中 菜緒	佐賀県立ろう学校	セミフォーマル ネイビー セットアップ
銅賞	興梠 陽子	鳥栖市身障者福祉協会	ワンピース
佳作	三橋 美智代	鳥栖市身障者福祉協会	チュニック
佳作	澤野 博子	鳥栖市身障者福祉協会	ブラウス
努力賞	立石 廣子	鳥栖市身障者福祉協会	スカート

(審査員講評:岡崎 繁代先生)

和洋裁の部という事なのに、日本の民族衣装の着物(和裁)がなく、洋裁も作品数が少ないのが残念でなりません。少ない作品数ではありましたが、皆様、布合わせのつり合いも良くきれいに仕立てられて、すばらしかったです。

審査員特別賞

【書の部】

山口 歌奏	佐賀県立うれしの特別支援学校	りんご
-------	----------------	-----

【絵画の部】

高祖 佑太	佐賀県立金立特別支援学校	ひがんばん
原 虎太郎	おへそこどもスタジオ	絵の木
森永 理央	おへそこどもスタジオ	線路
上野 莉都	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	さつまいも
諸岡 颯太	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	きりん
村山 泰志	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	流れ星
安藤 遙希	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	クローゼット
池田 健太郎	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	えがお
吉永 瑞希	佐賀県立盲学校	ひまわりと私

(総括)

今回は581点の応募をいただき、昨年よりさらに応募点数が増えました。ありがとうございました。
入賞された皆様おめでとうございます。

この作品展が、障害者に対する理解や障害者の創作意欲の向上の一助になればと期待します。
次回もより多くの作品をお待ちしています。

企画スタッフ一同